

1年間基礎プログラミングを学んできて、まず何よりパソコンに少しだけ強くなったような気がする。高校生まではパソコンはどうしても苦手意識があった。しかしこれから仕事に就き、働く上でパソコンなどのコンピュータに接する機会は多いと思う。なぜなら今の世の中はコンピュータやプログラムで成り立っている事例が多いと思ったからである。そのため基礎プログラミングや1年生の時に履修した情報リテラシーを通してパソコンに接する機会がたくさんあって本当に良かったと思う。

基礎プログラミングの講義は最初は内容がほとんど分からず、説明にも全くついていけなかった。課題レポートも何をすれば良いか分からず、しかも量も多くて戸惑ってばかりだった。このままではまずいと思い前期の中頃から予習をするようになった。具体的には先生の講義ノートを見た上で講義で使うプログラムをあらかじめ書いてみた。その結果講義内容の理解がより深まり説明にもついていけるようになった。課題レポートもやりやすくなった気がしたし、友達にも教えられるようになった。教え合うことも理解を深める良い機会だと思った。課題レポートに対する意識も良い方向に変わったと思う。後期は引き続き予習をし、さらに講義の前にその週の課題を少しやってしまう程になった。前期の半分、後期通して予習をしたおかげで講義では予習で作成したプログラムを確認する程度だったので、ゆとりをもって講義を聞けたと思う。

基礎プログラミングを物事を考える力や問題に対する課題意識が向上したと思った。少しでも粘り強く考え少しでも解決に繋がられるような訓練がたくさんできたと思う。CGIではアンケートやシラバスなどの作成ができてパソコンによる可能性が一気に大きくなったような気がした。最初の頃はプログラムを使って計算をしたり検索をしたりといった作業は最初は何の為にやるか分からずマイナスイメージしか無かったが、今思えば覚えていれば人生においてさまざまな可能性が広がると思うし、新しい操作や方法などをたくさん覚えることができると楽しいとも思っている。またグループ活動では1つの目標に対してメンバー全員で考えやり遂げる素晴らしさや重要性を実感した。

1、2年と情報科目をやってきたが、どちらもとても内容の濃い講義だった。特に基礎プログラミングは課題レポートなど大変だったが、その分たくさんの物を得ることができたと思う。せつかく大変な講義を乗り越えられたので得た物を絶対に将来にいかしていきたいと思った。

最後に次の発表が本当に最後の講義となるので悔いが残らないように頑張りたい。